

家族ケア論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 最上 玲子 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

臨地実習を終え、様々な看護体験をしてきた中で、患者のみならず家族に焦点を当てる。家族に関する様々な理論を踏まえ、家族集団のダイナミクスを理解し、家族の発達段階・臨床の場や在宅、地域で出会うさまざまな家族への支援方法について学び、これまで出会った患者・療養者の家族への支援について振り返り考えを深める。

・教育成果（アウトカム）

これまで学んできた看護専門領域における患者・療養者への看護・支援には家族支援も含まれていることは学修済みであるが、家族を一つのシステムとして捉え、家族の関係性に言及することができる。また事例を用いて家族への援助方法を学ぶことにより、困っている様々な家族に出会うときに支援ができるための家族へのかかわり方、支援方法の基本が理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 家族の定義・機能・構造について概説できる。
2. 家族看護を支える理論を比較し、それらの特徴を言える。
3. 家族をシステムとしてとらえ、家族介入の基本を概説できる。
4. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族のケアニーズについて、その家族の価値観、住んでいる地域の特徴、文化を踏まえ、アセスメントできる。
5. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族に必要な社会資源を複数挙げるができる。
6. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族のニーズに対応するための援助の基本を説明できる。

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
6/9 (金) 3限	成育看護学講座 最上 玲子 講師	<p>家族看護とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の定義を説明できる ・家族全体をとらえる必要性を述べることができる ・家族の機能と構造を述べるができる ・家族看護の定義を説明できる <p>【事前学修】 看護学概論の家族についての資料を復習しておく (60分)</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する (60分)</p>
6/15 (木) 1限	成育看護学講座 最上 玲子 講師	<p>家族看護に関わる理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族発達、家族ストレス理論、家族システム理論、それぞれの特徴のポイントを述べるができる ・家族モデルの概要について述べるができる <p>【事前学修】 事前配布資料から、各理論・モデルについて特徴を考える (60分)</p> <p>【事後学修】 講義・実習からの家族に関する看護の学びを踏まえ、家族に関する理論を結び付けて考える (60分)</p>
6/21 (木) 1限	成育看護学講座 最上 玲子 講師	<p>入院中の家族ケア -救急医療・集中治療の場-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者(児)の状況により混乱を生じている家族へのかかわりについて、要点をあげることができる <p>【事前学修】 成人看護学(急性期)、小児看護学で取り上げた家族への支援を復習しておく (60分)</p> <p>【事後学修】 成人看護学(急性期)、小児看護学で取り上げた家族への支援の実際と、講義内容を比較検討する (60分)</p>
6/23 (金) 2限	成育看護学講座 最上 玲子 講師	<p>入院中の家族ケア -小児病棟から捉える家族ケア-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院療養せざるを得ない子どもに寄り添う家族へのかかわりについて、要点をあげることができる <p>【事前学修】 入院中の小児と家族の事例(WebClassにて提示)を熟読し、家族の課題を明文化する(30分)</p> <p>【事後学修】 事前課題で明文化した課題について検討し、かかわりを記述する(WebClassにて提出)</p>

<p>6/30 (金) 2限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>外来治療療養者の家族ケア ・提示された患者及び家族のアセスメント、そこから見える患者・家族の認識のズレを認識し、家族にどのようなアプローチをしたらよいか考え、長期にわたる慢性疾患患者の家族支援のポイントを理解することができる</p> <p>【事前学修】 事前提示資料について、理論を用いて家族をとらえる（60分）</p> <p>【事後学修】 他の学生の考え方・講義内容と自分で立案したものとを比較検討し、整理する（60分）</p>
<p>7/5 (水) 2限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>在宅療養者の家族のケア ・在宅療養者、介護者の家族の役割を考える ・介護者のニーズを上げることができる</p> <p>【事前学修】 在宅看護学実習で出会った家族について学んだことを整理する（60分）</p> <p>【事後学修】 講義資料及び学生間のディスカッションを踏まえ家族との関係づくりのポイントを復習する（60分）</p>
<p>7/7 (金) 2限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>入院中の家族ケア -家族との関係づくり-</p> <p>・入院療養者と家族の役割変化を述べるができる ・家族のニーズを上げることができる ・家族関係の再構築への援助を述べるができる</p> <p>【事前学修】 事前提示課題に取り組む（60分）</p> <p>【事後学修】 講義資料及び学生間のディスカッションを踏まえ家族との関係づくりのポイントを復習する（60分）</p>
<p>7/10 (月) 2限</p>	<p>成育看護学講座 最上 玲子 講師</p>	<p>揺れ動く家族への支援のありよう ・選択した事例について看護職の家族支援について説明する ・家族看護についての自分の考えを述べるができる考えを深めることができる</p> <p>【事前学修】 提示した複数の事例を読み込み、自分が検討する事例を選択し、その事例に必要な事項を学習する（60分）</p> <p>【事後学修】 講義で得た他者の意見を踏まえ、家族看護についての自分の考えをレポートにまとめる（60分）</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	家族看護学 19 の臨床場面と 8 つの実践例から考える	山崎あけみ・原礼子編集	南江堂	2008
参	家族看護学	小島操子監修	中央法規	2007
推	家族看護学	上別府圭子代表	医学書院	2018

・成績評価方法

筆記試験 70%、課題レポート 30%により総合的に行う

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修については、各回講義に提示する次回講義の事前学修予習ポイントに取り組むこと、事後学修については、教科書は定めていないので講義資料の復習を必ず行うこととし、各回最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

講義の中に適宜学生間でのディスカッションを取り入れながら授業を行う。また授業に関する質問等はレスポンスカード(WebClass)で確認し、全体に伝えるべき内容は次の授業で話題とする課題について全体に共通する解説は WebClass で公表するとともに、WebClass を通じて個別にコメントする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（EPSON EB-L610WVPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（ELMO PX-10）	1	講義用資料投影